

森の京都エリアにおける農山村教育民泊 ～もう一つの家族～

森の京都エリア（亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市）は、京阪神の大都市に隣接し、京都丹波高原国定公園に指定されるなど森・里・川の豊かな自然に囲まれ、丹波大納言小豆や丹波黒大豆、丹波くりや京野菜等京の食文化を支える高品質の農産物が生産されています。

里山の豊かな自然や恵みを体感する都市農村交流の取組を通じて、地域内外からの交流促進と地域の活性化を目指し、平成25年から教育民泊の取組を推進しており、「一般社団法人京都丹波・食と森の交流協議会」や「一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会」を受入組織として平成28年度においては、15校、786名、(国内、海外含む)の受入実績となっています。

「教育民泊」とは、農山村家庭における少人数分宿型の教育体験旅行とし、児童・生徒が農林業体験や農山村生活体験を通じて生きる力や職業観を育む場として教育的効果もさることながら、地域の連帯感や活力を生むものとして大きな役割を果たしています。

4名程度の少人数の班で分宿し、森の京都エリアならではの体験として、みず菜や丹波大納言小豆、山菜等の収穫・調理体験、農産物直売所が多い地域であることを活かし、直売用の花の調製や椎茸を袋詰め後、販売体験を行うなど、受入家庭の暮らしを体験し、『もう一つの家族』として過ごします。

子ども達からは、「ごはんを一緒に作り家族との団らんが楽しかった」「初めて会ったのに家族みたいになれた」などの感想が寄せられ、また、受入家庭からも「地域をあげて取り組めることが嬉しい」、「子どもたちの素直さに心が動かされた」声も聞かれるなど、双方にメリットのある取組となっています。



直売用花の調製。「商品づくり・販売」を学ぶ



薪を切り分け、五右衛門風呂沸かしを体験



みず菜の収穫や丹波大納言小豆の収穫・調製を通じて京料理や京菓子のルーツを学ぶ



問い合わせ先

京都府南丹広域振興局企画調整室

TEL: 0771-22-0133 FAX: 0771-21-0118

Eメール: nanshin-no-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

食と森の交流の都

検索